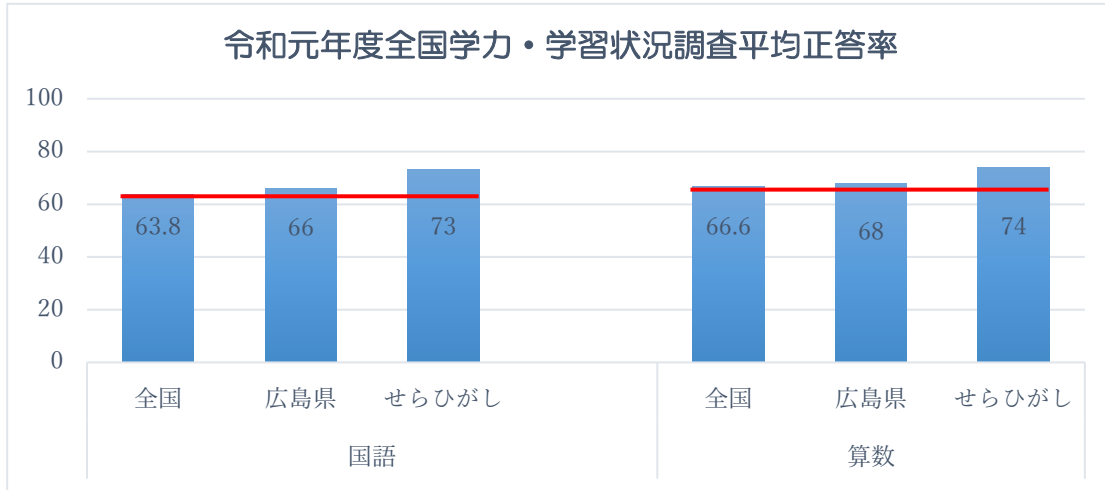


1 結果



2 誤答分析と改善計画

【国語】

正答率が低かった問題	改善計画
○漢字を使って書き直す。 ・友達にかぎらず ・調査のたいしょう ・かんしんをもってもらいたい	○学習した漢字を字形に注意しながら繰り返し書いて練習するのみならず、漢字のもつ意味を考えながら文や文章の中で正しく使うことを指導する。
○ことわざの使い方の例として適切なものを選択する。	○国語辞典やことわざ辞典などをまとめて指導したり、単元を設定して行ったりする。
○調べたことを報告する文章で、資料をどのような目的で用いているか、適切なものを選択する。	○目的や意図に応じて、情報から必要な内容を整理して書く力を付ける。そのために、新聞やリーフレットなど文章の種類や特徴を踏まえ、各内容や分量を考えながら、目的や意図に応じて簡単に書くというような学習活動を国語科のみならず、各教科においても意図的、計画的に設定する。

【算数】

正答率が低かった問題	改善計画
○2つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせて作ることでできる図形を選ぶ。	○具体物を用いた活動を通して、図形の構成要素に着目できるようにする。そのために、具体物を用いた活動を、構成要素に着目して、説明する必要性が感じられるように展開する。
○減法の式が示された形の面積をどのようにして求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く。→(複合図形の面積の求め方)	○思考の過程を可視化させ、図と式を対応させながら説明するように指導する。その際に、具体物を操作させたり、ICTを活用したりして、学級全体で思考の過程を共有できるようにする。また、既習の図形の定義などを確認しながら説明させることも大切にする。
○減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめて書く。→(計算の工夫)	○説明を振り返ることで、筋道立てて考えたことを過不足なく説明することができるようにする。その際に、根拠を明確にして、過不足なく説明できているかを、問題場面に戻って考察させる。